

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市小中学校音楽祭
事業主体の名称	下野市小中学校音楽祭実行委員会
代表者の名称	実行委員長 大塩 宗里
事業主体の所在	〒329-0492 下野市笹原26番地(下野市生涯学習文化課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:青少年の健全育成 ・設立年月日:平成30年6月25日 ・構成員等:下野市青少年育成市民会議理事及び市PTA、その他
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市は平成18年に南河内町、石橋町、国分寺町の3町が合併してできた市であり、市民が一体となって青少年の健全育成に取り組むため、「ファミリエ下野市民運動」を推進している。小中学校音楽祭実行委員会の構成組織となる、市青少年育成市民会議と各学校PTAにおいては、日頃から市と連携し子どもたちの健全育成に取り組んでいる。</p> <p>本事業は平成22年度から始まり、年々参加者と観覧者が増加し、近年では1,000人を超えている。市内小中学校児童生徒が一堂に会し、音楽を通じて交流することで、関係者はもちろんのこと、多くの市民のさらなる地域への愛着心を育てているものと考えられ、市民の社会参加意識やまちづくりに対する意欲をどのように高めていくかが課題である。このため、平成29年度から実行委員会の運営を市民に委ね、参加意識を高めていくよう努めているところである。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を通して市内児童・生徒の心身の健全育成に寄与するとともに、親睦を図る。 ・家庭、地域、学校が連携して事業を行い、下野市民としての一体感を醸成する。
事業概要	<p>【平成30年度】 開催日:平成30年9月15日(土) 実施内容:①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ・音楽を通して、学校間の児童・生徒の交流を図り、市の一体感を醸成を図った。 ・他校や上級生の演奏を見ることで刺激を受け、児童・生徒の音楽に対する学ぶ意欲の向上を図った。 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏 ③参加者全員による下野市歌の合唱 ☆昨年度に引き続き、実行委員会を組織化し、運営を委員会へ任せることで、市民参加によるまちづくりの意欲の向上を図った。 ☆チラシを幅広く配布し、一層の周知を図った。 ☆ケーブルテレビにて取材、放送してもらいPRするとともに、本格的な音楽ステージ仕様とし、来年度の参加へとつなげた。</p> <p>【平成31年度】 開催日:平成31年9月 実施内容:①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏 ※課題や改善点を見出し、児童・生徒の地域への愛着心、市民のまちづくりに対する意欲の向上につながるイベントとしていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】 幸せだと感じている市民の割合:H26 75% → H31 78%【市民意識調査(次回H31実施予定)】 住みやすいと感じる市民の割合:H26 84% → H31 87%【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>【KPI】 小中学校の教育の取組の満足度:H26 4 → H31 5【市民意識調査(次回H31実施予定)】 講座・講演会の年間受講者数:H26 8,242人 → H31 8,600人【H29実績 9,691人】 公民館の利用者数:H26 14万7千人 → H31 15万4,200人【H29実績 11万1,197人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏		①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏
事業費	1,398,362	1,428,165	1,450,000	4,276,527	1,450,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000
うち県交付金	550,000	550,000	550,000	1,650,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	298,362	328,165	350,000	976,527	350,000

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	生涯学習文化課(生涯学習推進グループ)
担当者名	大門 啓美
電話	0285-32-8919
連絡先 FAX	0285-32-8610
E-mail	syougaiyakusyuuubunka@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市小中学校音楽祭	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	1,100,000	下野市補助金
協賛金	328,165	下野市青少年育成市民会議協賛金
計	1,428,165	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	127,096	0	0	127,096	講評者謝礼:20,000円 司会者謝礼:6,000円 ゲスト出演者謝礼:15,000円 会場使用謝礼:20,000円 参加記念品代:66,096円 事務用消耗品
消耗品費	5,425	0	0	5,425	来賓及びスタッフ用 弁当、お茶代(100人分)
食糧費	66,313	0	0	66,313	チラシ(5,000枚) プログラム(2,500枚)
印刷製本費	24,649	0	0	24,649	実行委員会開催等郵送料
通信運搬費	6,560	0	0	6,560	
保険料	42,350	0	0	42,350	傷害保険(参加者847名分)
委託料	448,372	400,000	200,000	48,372	・ステージ設営費:396,252円 ・楽器リペア委託料:10,000円 ・警備料:42,120円
使用料及び賃借料	707,400	700,000	350,000	7,400	・楽器搬送用トラック借上代 81,000円 ・バス借上代 626,400円
予備費	0	0	0	0	
				0	
計	1,428,165	1,100,000	550,000	328,165	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

r

市町名	下野市
事業名	しもつけ市民芸術文化祭
事業主体の名称	しもつけ市民芸術文化祭実行委員会
代表者の名称	会長 中川 賢一
事業主体の所在	〒329-0492 下野市笹原26 (下野市生涯学習文化課内)
事業主体の概要	<p>団体の目的:しもつけ市民芸術文化祭の開催事業の具体的な推進を図る。</p> <p>・設立年月日:平成18年7月4日</p> <p>・構成員等:下野市文化協会役員及び一般公募委員</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市は、平成18年に南河内町、石橋町、国分寺町の3町が合併してできた市であるが、その際、「思いやりと交流で創る新生文化都市」をメインテーマに、日頃から市民を対象とした様々な公民館講座を開催し、また、小中学校でも芸術文化活動に力を入れてきた。合併当初より「しもつけ市民芸術文化祭」を開催し、以来、毎年10月に開催され、公民館講座や小中学生の学習の成果発表の場として、文化芸術に親しむ市民の意欲向上に寄与してきた。</p> <p>しかし、近年、文化協会会員の高齢化や会員数の減少に伴い、文化祭参加者も減少傾向にある。市民の趣味嗜好の多様化や旧3町の会場持ち回り開催などにより会場が遠方になってしまう方々がいるのも起因しているものと考えられる。文化祭は3町の融和のシンボリックな行事でもあることから、いかにして参加者を増やし、芸術文化の振興という目的のもと、市民の一体感を醸成していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・芸術文化活動に参加する市民を増やす。</p> <p>・市民の創作意欲の高揚を喚起する。</p> <p>・文化芸術の側面から市民の交流を図り、ふるさと意識の高揚と一体感を醸成を図る。</p> <p>・地域文化の振興による定住促進のシンボリックな事業とする。</p> <p>・多様化する文化芸術団体の成果発表の受け皿となる。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>○しもつけ市民芸術文化祭の開催(平成30年10月13日(土)～28日(日))</p> <p>①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ…市民が日頃活動している各教室の成果披露(吟詠、ダンス、邦楽、洋楽、郷土芸能、民謡、舞踊)</p> <p>②歌の祭典…市民が日頃活動している各教室等の成果披露(歌謡)</p> <p>③音楽の祭典…市民が日頃活動している各グループ等の成果披露(ロック、フォーク等)</p> <p>④グリム♪ミュージックフェア…市民が日頃活動している各教室等の成果披露(コーラス、吹奏楽、管弦楽等)</p> <p>⑤書道展…市民が日頃から制作している作品の展示(書道作品)</p> <p>⑥茶華道展…市民が日頃活動している教室等の成果披露(お茶のお点前、活け花の展示)</p> <p>⑦市民の作品展…市民が日頃から制作している作品の展示(絵画、版画、手工芸品等の作品)</p> <p>☆来場者の増加を目指し、南河内体育センター、グリムの館、国分寺公民館を周遊してもらうため、スタンプラリー企画を開催し、景品を用意した。また、関連イベントとして、国分寺公民館で囲碁大会(10/27)、将棋大会(10/28)、グリムの館で人権作品展(10/13～10/28)を開催した。</p> <p>【平成31年度】</p> <p>・前年の実施状況から内容の見直しを図るとともに、市民参加型のワークショップ(体験講座等)を各種開催予定。</p> <p>・集客力を強化し認知度を高めることで、出演料、出展料の割合を増やし、自主財源の確保に努める。</p> <p>・子どもの活動や作品が発表されることで地域への愛着を醸成するとともに、親世代の文化芸術への関心を高め、幸福感を感じることで定住意識を促進していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>幸せだと感じている市民の割合:H26 75%→H31 78%【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>住みやすくと感じる市民の割合:H26 84%→H31 87%【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>【KPI】</p> <p>小中学校の教育の取組の満足度:H26 4→H31 5【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>講座・講演会の年間受講者数:H26 8,242人→H31 8,600人【H29実績 9,691人】</p> <p>公民館の利用者数:H26 14万7千人→H31 15万4,200人【H29実績 11万1,197人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ ②歌の祭典 ③音楽の祭典 ④グリム♪ミュージックフェア ⑤書道展 ⑥茶華道展 ⑦市民の作品展	①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ②歌の祭典 ③音楽の祭典 ④グリム♪ミュージックフェア ⑤書道展 ⑥茶華道展 ⑦市民の作品展	①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ ②歌の祭典 ③音楽の祭典 ④グリム♪ミュージックフェア ⑤書道展 ⑥茶華道展 ⑦市民の作品展		①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ ②歌の祭典 ③音楽の祭典 ④グリム♪ミュージックフェア ⑤書道展 ⑥茶華道展 ⑦市民の作品展
事業費	1,129,212	1,177,496	1,158,646	3,465,354	1,150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	884,167	895,493	899,143	2,678,803	900,000
うち県交付金	442,083	447,746	449,571	1,339,400	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	245,045	282,003	259,503	786,551	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習文化課(文化振興グループ)
担当者名	大橋 祐太
電話	0285-32-8919
連絡先 FAX	0285-32-8610
E-mail	syougaiakusyuubunka@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	しもつけ市民芸術文化祭	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	899,143	下野市補助金
参加費	259,500	舞台部門 展示部門
雑収入	3	預金利子
計	1,158,646	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
食糧費	2,021	0	0	2,021	会議時飲み物代
手数料	1,404	0	0	1,404	振込手数料等
印刷製本費	96,120	96,120	48,060	0	ポスター印刷代 @205円×200枚 チラシ印刷代 @6円×8,000枚
委託料	1,039,101	803,023	401,511	236,078	展示会場設営 パネル・テーブルレンタル648,000円 茶室セットレンタル 32,400円 舞台部門機材 音響機材レンタル 113,200円 看板作製費 会場内案内看板 10,800円 消耗品費 会場消耗品費 234,701円
保険料	20,000	0	0	20,000	賠償責任保険
予備費	0	0	0	0	
				0	
				0	
				0	
計	1,158,646	899,143	449,571	259,503	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	下野市産業祭開催事業
事業主体の名称	下野市産業祭実行委員会
代表者の名称	会長 瀧澤 卓倫
事業主体の所在	〒329-0492 下野市笹原26番地
事業主体の概要	<p>団体の目的:市民の産業への関心を喚起し、本市における産業を通じた市民、観光客その他の交流及びその発展に寄与する ・設立年月日:ふれあいプラザ実行委員会(平成23年9月1日設立)下野市産業祭実行委員会へ名称変更(平成25年8月12日) ・構成員等:産業振興部長、農政課長、商業関係団体の代表者、工業関係団体の代表者、農業関係団体の代表者、観光関係団体の代表者、その他必要な関係団体の代表者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市(平成18年に旧南河内町、旧石橋町、旧国分寺町の3町が対等合併して誕生)では、古くは日光街道が、現在ではJR宇都宮線、国道4号、新4号国道が南北に縦断している交通の利便性を活用し商工業が発展してきた。また、首都圏に近い立地条件を生かした都市近郊農業が盛んで、特に、本市の特産品でもある「かんびょう」の生産量は全国一を誇っており、近年、地域の特性を活かした銘柄を創出するブランド化を推進しているところである。 これらの産業振興を図るべく、合併以前から旧石橋町では、「ふれあいプラザ」として地場産品のPRや販売、展示などを行ってきたが、合併後、平成23年からは旧南河内町や旧国分寺町の商工業者も含めて「ふれあいプラザ」を開催、平成25年からは名称を「産業祭」に変更し、地域産業のPRや認知度向上、下野ブランドの定着を図ってきたところ、市内での認知度は高まってきている。 しかし、(旧石橋町で開催していた事業であり、会場も石橋地区であることから)石橋地区以外の出展が少ない、出展者の固定化が進んでいる、高齢化や後継者不足で出展者が減少しているなどの問題があり、今後いかにして市内全域からの出展や新規出展を増やし、下野ブランドを育成していく後継者を確保しながら、市民自らのプロモーション力を向上させていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・下野ブランドをはじめ、下野市の魅力を市内にPRし、産業を活性化させる。 ・市内全域からの出展や新規出展を増やし、下野ブランド育成の後継者を確保する。 ・市民の郷土愛、一体感を醸成する。 ・商工業者を中心とした市民自らがシティプロモーションを行う。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 ◎産業祭の開催(10月28日(日)) ・商工業者の出展: 商工会員を中心に自社製品や取扱商品等のPR・展示・販売の実施 ・各工業団地による出展: 各企業の製品・商品の展示・販売やパネル等による製造工程の説明 ・食と農の情報発信: 市内で生産されるかんびょうなどの特産品を陳列・販売 ・公共性のある団体による出展等: 観光協会や各種団体によるポスター等の展示によるPR活動 ・食品を中心とした下野ブランド認定品の販売 ・ステージ催事: 市内幼稚園児による発表、小学生による太鼓の演奏 ・企業協賛によるお楽しみ抽選会、立地企業のPRタイム (ステージ総合司会:地元出身の芸人「永井壺」及びしもサタバソナリティ) ・市関係課のブースによる市の施策や取組のPR</p> <p>○誘客 チラシ20,000枚を公共施設、出展する事業所に配布するほか、ポスター50枚を市内公共機関、JR小金井駅、自治医大駅、石橋駅、自治医科大学附属病院院内掲示板上に掲示し、広くイベントを告知した。 近隣の公園に第3駐車場を設置し、シャトルバスを運行することで、市外から車で来場する方への対応を行い、誘客につなげた。</p> <p>【平成31年度】 より産業振興に資するイベントとなるよう、後継者確保や市民の郷土愛の醸成につながるような取組を検討し、リニューアルしながら実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標①魅力的で安定した雇用を創出する ②東京圏からの新しいひとの流れをつくる 【数値目標】 転入者数:H26 2,319人→H31 2,550人 【H28実績 2,276人】 【KPI】 企業交流会・講習会の開催回数:H26 年1回→H31 毎年開催 【H28実績 年1回】 事業所数:H26 113事業所→H31 120事業所 【H28実績 107事業所】 地産地消応援認定数:H26 47事業所→H31 60事業所 【H28実績 51事業所】 下野ブランド認定件数:H26 24件→H31 40件 【H28実績 32件】 パーソナルロボットイベント参加回数:H26 ー →H31 延50回以上 【H28実績 延16回】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第5回下野市産業祭開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR	第6回下野市産業祭開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR	第7回下野市産業祭開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR		第8回下野市産業祭開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR
事業費	2,875,612	2,558,780	3,129,640	8,564,032	3,201,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,575,475	2,458,772	3,099,629	8,133,876	3,200,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	300,137	100,008	30,011	430,156	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課(商工業・労働グループ)
担当者名	野口 修一
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukoukankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市産業祭開催事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	3,099,629	下野市補助金
雑収入	11	預金利子
協賛金	30,000	戸田・小林特定建設工事共同企業体3万円
計	3,129,640	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	114,000	114,000	0	0	ステージ総合司会 1名×54,000円 ステージ発表団体謝金 3団体×20,000円
消耗品費	25,000	0	0	25,000	お楽しみ抽選会 参加賞品 25,000円
食糧費	13,910	13,910	0	0	会議時飲み物 7,310円 出演者昼食 6,600円
印刷製本費	142,128	142,128	0	0	チラシ 20,000枚 ポスター 50枚
保険料	55,520	55,520	0	0	傷害・賠償保険
委託料	776,870	771,859	87,500	5,011	看板作成 49,896円 駐車場警備・交通整理 110,160円 音響設備 125,000円 仮設電気工事 432,000円 会場内巡回、駐車場ライン引 き(シルバー人材委託) 34,760円 ゴミ処理 25,054円
使用料及び賃借料	1,998,000	1,998,000	912,500	0	ステージ及び片屋根テント 式、出展者用テント83張・机 椅子、入場ゲート式 1,998,000円
手数料	4,212	4,212	0	0	
計	3,129,640	3,099,629	1,000,000	30,011	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	いしばし納涼踊り花火大会開催事業
事業主体の名称	いしばし納涼踊り花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 吉田 宗司
事業主体の所在	〒329-0511 下野市石橋790-17
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 踊り花火を通じ地域住民の連帯感をほぐし、明るく住みよいまちづくりを図る。 ・設立年月日: 昭和48年 ・構成員等: 石橋商工会・理事、下野市、電気工事組合、建友会、音頭おはやし会、下野市立地工場連絡協議会、石橋中学校PTA連絡会、自治会連絡協議会、警察、消防
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市・石橋地区には、JR石橋駅を中心とした昔からの商店街や住宅地があるが、高齢化の進展とともに閉店する商店が増え、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地のスポンジ化が進んでいる。</p> <p>その一方で、地域の祭りとして昭和48年から続く「いしばし納涼踊り花火大会」は、地域住民の交流を促進し、業種を超えた交流や情報交換の場として機能するほか、近年誕生した新興住宅地と従来の住宅地の新旧住民や世代を超えた人々の交流の場としても重要な役割を担うなど、空洞化が進む街においても、地域コミュニティを維持することに貢献してきた。また、平成18年の旧国分寺町、旧南河内町との合併後は、下野市を代表するお祭りの1つとして市内外より多くの人が訪れる行事となっている。</p> <p>しかし、お祭りの中心となって活動してきた商工業者も高齢化が進み、後継者不足により廃業となるなど、将来的な祭りの担い手の不足が懸念されている。地域住民の交流を促し、絆を深めてきた祭りの衰退は、地域の活力低下やさらなる若者の流出につながりかねない。いかんして石橋地区への訪問者を増やし、地域の良さを知り将来的に住み続けたい街として実感してもらえぬかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自らが地域を盛り立てていく。 ・子どもの郷土愛を醸成する。 ・地域の連帯感を育む。 ・下野市(石橋地区)を訪れるきっかけをつくり、地域の良さを知らせ将来的な移住・定住候補地として考えてもらう。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>○盆踊り花火大会の開催: 8月4日(土)午後7時~9時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み時期に開催することにより、帰省者をターゲットに、Uターン促進、市のPRのためパンフレット等を配布した。 ・地元のおはやし団体による音頭はやし演奏 ・盆踊り・・・地域団体、スポーツ少年団、育成会、中学生、立地企業等がグループで盆踊りを披露し、審査・表彰する。 ・花火 ・市内をはじめとした屋台の出店 <p>※今年度は、地域の商店の出店を促進させ、地域の連帯感を一層高めた。</p> <p>○事前PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞(下野・読売・毎日・朝日)折込、商工会員事業所・実行委員(市・PTA・自治会)の関連施設へのポスター掲示、ホームページやタウン情報誌への掲載のほか、市のプロモーションサイトやSNSと連携し、広くPR活動を行った。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>より郷土愛や連帯感を育むためのイベントとなるよう関係各位と連携を密にしながら実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>幸せだと感じている市民の割合: H26 75%→H31 78% 【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>住みやすいと感じる市民の割合: H26 84%→H31 87% 【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>観光入込客数: H26 252万人→H31 277万人 【H29実績 236万人】</p> <p>転入者数: H26 2,319人→H31 2,550人 【H29実績 2,573人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・盆踊り大会 ・花火大会	・盆踊り大会 ・花火大会	・盆踊り大会 ・花火大会		・盆踊り大会 ・花火大会
事業費	4,463,595	4,166,699	4,706,329	13,336,623	4,920,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,467,000	1,372,000	1,450,000	4,289,000	1,640,000
うち県交付金	733,500	686,000	725,000	2,144,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	2,996,595	2,794,699	3,256,329	9,047,623	3,280,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課(商工業・労働グループ)
担当者名	野口 修一
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukoukankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	いしばし納涼踊り花火大会開催事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	1,450,000	下野市補助金
負担金	495,291	石橋商工会
広告料	2,630,000	協賛広告料(447件)
雑収入	131,038	祝い金、出店料ほか
計	4,706,329	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	656,253	300,000	150,000	356,253	謝礼:168,000円 関係団体謝礼:40,000円 記念タオル:64,512円 お囃子謝礼:149,741円 表彰・参加賞:234,000円
食糧費	436,883	0	0	436,883	飲み物、弁当代
広告料	329,745	160,000	80,000	169,745	ポスター、チラシ、新聞折込
手数料	45,800	20,000	10,000	25,800	紅白幕クリーニング
保険料	41,880	20,000	10,000	21,880	保険料
委託料	1,250,000	0	0	1,250,000	花火打上
	1,896,948	901,180	450,590	995,768	電気工事:650,000円 やぐら設置:270,000円 交通整理:365,040円 会場設営費:611,908円
使用料及び賃借料	48,820	48,820	24,410	0	消耗機材費
計	4,706,329	1,450,000	725,000	3,256,329	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	石橋商工会賑わい祭開催事業
事業主体の名称	石橋商工会
代表者の名称	会長 吉田 宗司
事業主体の所在	〒329-0511 下野市石橋790-17
事業主体の概要	<p>団体の目的:地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資し、もって国民経済の健全な発展に寄与する。</p> <p>*設立年月日:昭和35年9月16日</p> <p>*構成員等:本商工会の地区内において、引き続き6月以上 営業所、事務所工場又は事業場を有する商工業者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>石橋駅前商店街は、かつての宿場町で、馬市がおかれ、戦後も家畜市場やかんびょう問屋のある賑やかな商店街であったが、高齢化やモータリゼーションに伴い、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地の空洞化が進んでいる。また、昭和35年から、住民の交流の場や各店舗の商品PRの場として「賑わい祭り」が開催されてきたが、後継者不足などから出展者の減少傾向が続いていた。</p> <p>商店街の活性化に寄与してきた「賑わい祭り」の衰退は、商店街、さらには石橋地域の商工業の衰退につながりかねない。平成27年には、商店街に代わり商工会が主体となって、商店街のみでなく広く石橋地域の商工業者に参加を呼びかけ、9月に賑わい祭り、10月に駅前の商店を中心とした軽トラ市を開催したところ、約2,000名の来場があるなど、それまでを上回る賑わいを見せた。さらに今年度から、かつての中心商店街だった栄町通りを会場に、完全歩行者天国にすることで、交通安全上の問題を解決するなど誘客力の向上に努めている。</p> <p>しかし、出展者の減少という問題は解決していないことから、いかにしてこれらの問題を解消しつつ、商工会の後継者を確保して駅前商店街の賑わいを創出していかかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 駅前商店街の賑わいを取り戻す。 商工会の後継者を増やす。 消費者、生産者、販売者の交流を促す。 石橋駅前商店街を訪れ、地域の良さを知ってもらい、将来的に移住・定住、商工会メンバーになってもらう。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>◎賑わい祭の開催(10月21日(日)) 於:栄町通り(市道2258号線) ※歩行者天国</p> <p>【軽トラ市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽トラック等で農産物、加工品、商工業用品等の販売 理科実験のワークショップの出店など、親子で楽しめるイベントになるよう工夫した。 <p>【メインステージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元幼稚園や市内こどもダンスグループなどによるパフォーマンスを行い、子どもたちの発表の場を設けた。 ビンゴゲーム、千本釣り、ガラボン大会を実施し、参加型のイベントした。 <p>※従来の「賑わい祭」と「軽トラ市」を発展的に統合することで、より多くの誘客を図るとともに、出展者間の交流を促進することに努めた。</p> <p>○誘客 祭り出店者や商工会員店舗、下野・読売・毎日・朝日新聞への折込でチラシを配布するとともにホームページに掲載し広くPRを行った。</p> <p>【平成31年度以降】 より地域の活性化や商業振興に資するイベントになるようリニューアルしながら実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標①魅力的で安定した雇用を創出する ②東京圏からの新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】 観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人 【H29実績 236万人】</p> <p>【KPI】 制度融資新規活用件数:H26 177件→H31 200件 【H29実績 180件】 駅前広場事業実施箇所数:H26 2箇所→H31 5箇所 【H29実績 3か所】 空き店舗奨励金等活用件数:H26 2件→H31 延15件 【H29実績 延9件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・農産物、加工品、商工業用品の販売 ・ヒーローショーや市民グループによるパフォーマンス ・ビンゴゲームやじゃんけん大会	・農産物、加工品、商工業用品の販売 ・幼稚園児、小学生や市民グループによるパフォーマンス ・ビンゴゲームやじゃんけん大会、アイス早食い競争、千本釣り	・農産物、加工品、商工業用品の販売 ・ヒーローショーや市民グループによるステージパフォーマンス ・ビンゴゲームやガラボン大会などの参加型イベント		・農産物、加工品、商工業用品の販売 ・ヒーローショーや市民グループによるパフォーマンス ・ビンゴゲームやじゃんけん大会
事業費	1,537,069	1,500,898	1,559,443	4,597,410	1,288,000
市町支出金 (ソフト事業分)	228,000	470,000	498,000	1,196,000	229,000
うち県交付金	114,000	235,000	249,000	598,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,309,069	1,030,898	1,061,443	3,401,410	1,059,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課(商工業・労働グループ)
担当者名	野口 修一
電話	0285-32-8907
連絡先 FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukoukankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	石橋商工会賑わい祭開催事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	498,000	下野市補助金
協賛金収入	213,000	3,000円×71口
出店料	155,000	5,000円×31店舗
負担金	655,943	石橋商工会
雑収入	37,500	お楽しみ券売上
計	1,559,443	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	70,000	35,000	17,500	35,000	出演者謝金 70,000円
消耗品費	515,449	300,000	150,000	215,449	景品代259,889円 その他消耗品費255,560円
食糧費	35,595	0	0	35,595	出演者お茶代6,795円 出演者昼食代28,800円
印刷製本費	216,000	108,000	54,000	108,000	ポスター、チラシ作成料 216,000円
委託料	440,464	55,000	27,500	385,464	音響設備運営40,000円 会場設営委託料300,000円 警備代100,464円
使用料及び賃借料	256,795	0	0	256,795	駐車場借上料7,060円 会場、ステージ借上料 249,735円
保険料	25,140	0	0	25,140	保険代25,140円
計	1,559,443	498,000	249,000	1,061,443	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	しもつけお笑いグランプリ開催事業
事業主体の名称	しもつけお笑いグランプリ実行委員会
代表者の名称	実行委員長 佐藤 寛記
事業主体の所在	〒329-0511 下野市石橋790-17
事業主体の概要	<p>・団体の目的:石橋商工会青年部を中心とした若者たちによる地域の活性化や笑いによる幸福度アップを図る。</p> <p>・設立年月日:イブニングライズ実行委員会(平成元年設立)、しもつけお笑いグランプリ実行委員会に名称変更(平成26年度)</p> <p>・構成員等:石橋商工会青年部員及び地域の有志</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市・石橋地区には、JR石橋駅を中心とした昔からの商店街や住宅地があるが、高齢化の進展とともに閉店する商店が増え、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地の空洞化が進んでいる。</p> <p>商工会等が中心となって様々な活性化の取組を行っているが、各取組は模索・実行段階にあり、まだ明確な成果が出ているわけではない。そこで、平成元年、数少ない商工会の後継者が集まり、若手のアイデアで活性化に貢献しようと、イブニングライズ実行委員会を設立し、コンサート中心のイベントを開催してきたが、近年では事業がマンネリ化し、来場者が減少してきたことに伴い事業規模も縮小していた。</p> <p>そのため、平成26年に、事業のあり方を見直し、地域の活性化には「笑い」が必要だと「お笑いグランプリ」を開催するとともに、近年下野市で力を入れている特産品を活かした「ご当地グルメ選手権」を開催したところ、久しぶりに来場者が増えた。</p> <p>しかし、まだ開催3年目ということで認知度は高くないこともあり、今後いかにして地域住民に愛される、石橋地区の資源にしていけるか、また、これをきっかけに人を呼び込み商工会の後継者を増やしていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・石橋地区の商工業を活性化させる。</p> <p>・商工会の後継者を増やす。</p> <p>・下野ブランドの魅力を市民自身が再確認し、誇れる街とする。</p> <p>・下野市(石橋地区)を訪れるきっかけをつくり、地域の良さを知ってもらい将来的な移住・定住候補地として考えてもらう。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>○しもつけお笑いグランプリの開催:9月23日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25組のお笑い芸人がコント・漫才でトーナメント方式によるお笑いバトルを実施。 ・電撃ネットワークのキュウゾウさんや漫才協会真打のニックスなど県内出身の芸人に審査員をお願いし、スペシャルゲストとして猫ひろしを迎え、プレミア感を演出した。 ・本年度より会場をグリムの館に移し観覧席を増やし、チケット制を導入することで、自己財源の確保に努めた。 <p>○市内店舗によるマルシェ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場前広場に大型モニターを設置し、マルシェで飲食しながら予選ステージを見物できるようにした。 ・下野市商工会青年部も協力し、子どもも楽しめる緑日コーナーを出店してもらい、市内の2つの商工会の交流も図った。 <p>☆司会に下野市出身の芸人「永井壘」と本市の特命シティプロモーション課リポーター「ミッシェ」を起用し、随所に下野市のネタを交えながらPRトークを行い、市のプロモーションを行った。</p> <p>○事前PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞折り込みを下野新聞だけでなく、読売・朝日・毎日に加大していくとともに、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを活用したPRを行った。 ・市内中学校や高校にチラシを配布し、流行に敏感な若年層の来場を促した。 ・出演する芸人のみなさんに、SNSでの告知やPRに協力してもらい、ファンの方へも情報発信することでより広くPRした。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>将来的には出店料や入場料をとることで自主運営を検討していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>転入者数:H26 2,319人→H31 2,550人【H29実績 2,573人】</p> <p>観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人【H29実績 236万人】</p> <p>幸せだと感じている市民の割合:H26 75%→H31 78%【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>【KPI】</p> <p>下野ブランド認定件数:H26 24件→H31 40件【H29実績 30件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・お笑いグランプリ ・下野ブランドPR・販売 ・ご当地グルメ選手権	・お笑いグランプリ ・下野ブランドPR・販売 ・ご当地グルメ選手権	・お笑いグランプリ ・下野ブランドPR・販売 ・ご当地グルメ選手権		・お笑いグランプリ ・下野ブランドPR・販売 ・ご当地グルメ選手権
事業費	543,614	600,168	973,688	2,117,470	900,000
市町支出金 (ソフト事業分)	181,000	200,000	300,000	681,000	300,000
うち県交付金	90,500	100,000	150,000	340,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	362,614	400,168	673,688	1,436,470	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課(商工業・労働グループ)
担当者名	野口 修一
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukoukankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	しもつけお笑いグランプリ開催事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	300,000	下野市補助金
協賛金	190,000	5,000円×38口
入場料	71,000	チケット代 1,000円×71席
負担金	327,379	石橋商工会 150,000円、青年部 177,379円
グランプリエントリー費	40,000	芸人エントリー料
出展料収入	26,000	飲食5,000円×4店舗、物販・WS1,000円×6店舗
雑収入	19,309	祝金、お笑い募金収入
計	973,688	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	150,000	75,000	37,500	75,000	賞金、MC謝金
食糧費	23,234	0	0	23,234	当日出演者食事代
印刷製本費	66,166	30,000	15,000	36,166	ポスター、チラシ、 その他広告代
委託料	630,088	160,000	80,000	470,088	MC、音響、ごみ処分料
使用料及び賃借料	104,200	35,000	17,500	69,200	会場借地費
計	973,688	300,000	150,000	673,688	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市商工会青年部夏まつり開催事業
事業主体の名称	下野市商工会青年部
代表者の名称	部長 星野 雄亮
事業主体の所在	〒329-0412 下野市柴897-10
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:商工業の後継者たるべき青年の経営者としての資質を向上させ、商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資する ・設立年月日:平成24年4月(南河内商工会、国分寺商工会の合併により設立) ・構成員等:本商工会の会員たる商工業者(法人にあってはその役員)又はその親族であり、かつ、その会員の営む事業に従事する者であって、年齢満45歳以下の者
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市は平成18年に旧石橋町、旧南河内町、旧国分寺町が合併してできたが、商工会としては、平成24年に南河内町商工会と国分寺商工会が合併して下野市商工会となった。その際、旧各商工会の青年部(地域の商工業のこれからを担う若者たちの組織)同士、交流と一体感を深めた方がよいと、様々な取組をしてきたが、さらに各旧町の住民との交流も図るため、平成24年から下野市商工会青年部夏まつりを開催してきたところ、少しずつ交流が深まってきた。</p> <p>しかし、商工会青年部の人数は多くなく、今後さらに人口減少が進むと商工会青年部(商工会の後継者)の存続も危ぶまれる。そのため、いかにして商工会青年部と住民の交流を図りつつ、商工会の後継者を確保していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした商工業を育成する。 ・住みたい地区として、移住定住候補地になる。 ・子どもの郷土愛を醸成し、将来的なUターン、定住意識を育てる。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>○夏まつりの開催(8月26日(日))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み時期に開催することで、帰省客の取り込みや子どもの参加を促した。 ・小学生以下の子どもを対象にした参加体験型の催しを実施し、親子で気軽に参加できるイベントとした。 ・ゲーム(射的、スマートボール、ラッキーボール) ・イベント(抽選会、大道芸、鮎のつかみ取り) ・模擬店(焼き鳥、かき氷、焼きそば、ジュース、フランクフルト) ・親子木工教室を開催し、子どもたちにもものづくりの体験をしてもらった。 <p>☆石橋商工会青年部も出店協力することで、市内の2つの商工会の交流と連携強化を図った。</p> <p>○事前PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター50枚、チラシ4,000枚を市内小学校、幼稚園、保育園に配布したほか、HPやSNSを活用し、広く情報発信した。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>売上げを伸ばし自立性を高めていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人【H29実績 236万人】</p> <p>転入者数:H26 2,319人→H31 2,550人【H29実績 2,573人】</p> <p>幸せだと感じている市民の割合:H26 75%→H31 78%【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>住みやすいと感じる市民の割合:H26 84%→H31 87%【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・周知広報活動 ・出展者募集 ・夏まつり開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知広報活動 ・出展者募集 ・夏まつり開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知広報活動 ・出展者募集 ・夏まつり開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・周知広報活動 ・出展者募集 ・夏まつり開催
事業費	641,576	414,469	450,136	1,506,181	900,000
市町支出金 (ソフト事業分)	213,000	138,000	150,000	501,000	250,000
うち県交付金	106,500	69,000	75,000	250,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	428,576	276,469	300,136	1,005,181	650,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工業・労働グループ
担当者名	野口 修一
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukougankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市商工会青年部夏まつり開催事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	150,000	下野市補助金
負担金	72,756	下野市商工会青年部
利用券売上	202,200	500円×392セット 100円×62枚
協賛金	25,180	下野市リフォーム会
計	450,136	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	97,969	45,000	22,500	52,969	抽選会景品:97,969円
消耗品費	111,920	60,000	30,000	51,920	ゲーム景品:60,831円 模擬店販売材料:46,584円 その他消耗品費:4,505円
印刷製本費	50,360	25,000	12,500	25,360	チラシ(4,000枚) ポスター(50枚)
保険料	14,980	7,000	3,500	7,980	保険料
委託料	108,500	0	0	108,500	鮎のつかみ取り:83,500円 演芸:大道芸:20,000円 ごみ処理:5,000円
手数料	39,400	13,000	6,500	26,400	下野市リフォーム会:21,500円 石橋商工会青年部:17,900円
食糧費	27,007	0	0	27,007	運営準備費(弁当・飲み物): 27,007円
				0	
				0	
計	450,136	150,000	75,000	300,136	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市天平マラソン大会
事業主体の名称	下野市体育協会
代表者の名称	下野市体育協会 会長 野口俊明
事業主体の所在	〒329-0492 栃木県下野市笹原26 (下野市教育委員会事務局スポーツ振興課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:生涯スポーツの普及と振興を図り、市民の体力向上とスポーツマンシップを涵養することに努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた市民生活と文化の形成に寄与する。 ・設立年月日:平成18年3月26日設立 ・構成員等:20種目別競技団体加盟
当該事業に係る地域の現状と課題	文化・歴史の薫る天平の丘公園周辺をコースとした天平マラソン大会は、年々参加者が増加し市内外から2,000名を超える参加者数となっており、生涯スポーツの推進、選手間の交流及び本市のイメージアップ、PRの場として開催している。しかし、豊富な歴史的資源等があるにも関わらず、単に大会への参加にとどまり滞在時間、再来訪者も少ない。本大会は、下野市の魅力を発信する貴重な機会のひとつであるが、現状ではまだまだ情報発信が十分でないことが課題となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく健康で潤いに満ちた生活を営むための要素としての生涯スポーツの振興を図る。 ・大会を通し、役員や参加者間の交流が生まれ地域を超えた親睦の輪を広げる機会を提供する。 ・多くの人々が集うことで地域を活性化し、地域の一体感や郷土愛の醸成を図る。 ・本市の歴史、文化、特産品、自然などの資源、魅力の発信の場とし、本市への来訪者の増加を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>開催日:平成31年1月14日(成人の日) 天平の丘公園発着</p> <p>①大会の開催準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議等の開催…打ち合わせ会により体協陸上部と今年度大会内容の確認を行い、役員の分配を決定する調整会議、担当役員の役割を説明する役員説明会等を実施した。 ・参加申込書、プログラム等を作成した。 ・大会のPR…ネットエントリーサービス(ランネット)を利用した大会紹介ページの作成、大会の広告をうった。大会専用ページを開設し、SNS(Facebook)を使った情報発信を実施した。 <p>②大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技種目は6コース(ハーフ・10km・5km・3km・2km・1km親子ペア)による23クラスで実施。 ・表彰は、各クラス1位～3位までメダル・賞状・副賞、4位～6位まで賞状・副賞を授与。完走者には記録証を交付した。 ・参加者には、記念品を配布した。 ・第13回大会にちなみ、各種目13位に飛び賞を配布した。 ・1km親子ペアコースのスタート時間を調整することでコース中のランナーの交錯を解消し、参加者の満足度向上を図った。 ・先導車による護衛体制を乗用車からバイクへ変更し、追い越し等による交通危険因子の排除及び大会の安全性向上を図った。 <p>③市PRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品であるかんぴょうを使ったかんぴょう汁の無料配布を行った。 ・プログラム中の広告掲載、会場内特設ブースを利用した下野市のPRを実施した。 <p>【平成31年度】</p> <p>平成30年度の取組を踏まえ、市のPRも兼ねたスポーツイベントとして取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】観光入込客数:H26年252万人 ⇒ H31年277万人【H28実績 247万人】</p> <p>【KPI】</p> <p>スポーツ活動の実施率:H26年51.7% ⇒ H31年53.0%【市民アンケート調査(次回H32実施予定)】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第12回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施	第13回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施	第14回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施		下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施
事業費	4,761,983	4,904,135	4,780,000	14,446,118	4,780,000
市町支出金 (ソフト事業分)	813,483	803,135	880,000	2,496,618	880,000
うち県交付金	406,741	401,567	440,000	1,248,308	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,948,500	4,101,000	3,900,000	11,949,500	3,900,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	スポーツ振興課(スポーツ振興グループ)
担当者名	佐藤 養祐
電話	0285-32-8920
FAX	0285-32-8611
E-mail	sports@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市天平マラソン大会	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	803,135	下野市補助金
参加料	4,101,000	参加者参加料
(参加料内訳)		【ハーフ】 3,000円×654名 1,962,000円 【10km】 2,500円×324名 810,000円 【5km】 2,500円×188名(高校生以上) 1,000円×115名(中学生) 585,000円 【3km】 1,000円×260名 260,000円 【2km】 1,000円×182名 182,000円 2,000円×151組(親子) 302,000円
計	4,904,135	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	886,250	200,000	100,000	686,250	参加者記念品、メダル代等
消耗品	132,993	50,000	25,000	82,993	事務用消耗品代
印刷製本費	440,640	79,000	39,500	361,640	プログラム等印刷代
通信運搬費	2,293	1,000	500	1,293	郵送料
委託料	2,494,037	323,135	161,567	2,170,902	計測、仮設電機、警備委託料、看板作成
使用料及び賃借料	500,958	150,000	75,000	350,958	ランネット等使用料
食糧費	255,644	0	0	255,644	役員弁当代等
保険料	191,320	0	0	191,320	参加者傷害保険
				0	
				0	
計	4,904,135	803,135	401,567	4,101,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	第8回 しもつけかんびょうまつり
事業主体の名称	しもつけかんびょうまつり実行委員会
代表者の名称	しもつけかんびょうまつり実行委員会 会長 池田 榮
事業主体の所在	〒329-0492 下野市笹原26番地
事業主体の概要	<p>■団体の目的 下野市の特産品(ブランド)である「かんびょう」をPRするとともに、かんびょうに関する様々なイベントを開催し生産者と消費者の交流を通してかんびょうの生産振興と消費拡大を図ることを目的とする。</p> <p>■設立年月日 平成23年6月27日設立</p> <p>■構成員等 かんびょう生産者・認定農業者連絡協議会・農業士会・農業委員会・農村生活研究グループ・農産物加工組合・JAおやま・JAうつのみや・栃木県干瓢商業協同組合・商工会・しもつけ地域活性化委員会・観光協会</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	下野市は、かんびょう生産量日本一を誇る生産地であるが、生産農家の高齢化や後継者不足等により生産量が減少している状況にあることから、当該事業を通じ市の特産品である「かんびょう」の魅力を多くの消費者の方々に発信し、かんびょうの生産振興及び消費拡大を図るとともに、生産後継者の掘り起こしを行い生産量の維持・増をしていく必要がある。
事業目的	下野市の特産品(ブランド)である「かんびょう」をPRするとともに、かんびょうに関する様々なイベントを開催し生産者と消費者の交流を通してかんびょうの生産振興と消費拡大を図ることを目的とする。本イベントを通じブランド食材であるかんびょうを消費者に身近に感じてもらうとともに、食物繊維やミネラルを多く含む健康食材であることを幅広くアピールし、消費拡大につなげていく。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■実行委員会の開催・・・事業内容・予算の検討、事業詳細確認・役割分担、事業報告・決算 計2回開催(①6月21日、②9月7日)</p> <p>■しもつけかんびょうまつりの開催 かんびょうの生産振興と消費拡大を図るため、下記の取組を行った。 ・開催日時:7月21日 ・開催場所:道の駅しもつけ ・開催のPR・・・市広報紙・ポスター・チラシ配付(チラシは市内全小学校へ配布) ・かんびょうむき・干し体験(都市消費者交流事業) ・ふくべ重さ当て・ふくべ給付け体験(都市消費者交流事業)・ジャンボふくべコンテスト ・かんびょう料理教室(都市消費者交流事業)・かんびょう汁のサービス・かんびょう料理レシピの配布 ・かんびょうを身近に感じていただき普及促進を図るため、かんびょう料理新メニューコンテストを実施した。(大人の部・子供の部・ヘルシー部門) ・市のPR動画に出演したアクション俳優によるヒーローショーを開催し、親子連れで楽しめるイベントにするとともに、市のPR活動を行った。</p> <p>【平成31年度】 都市消費者交流事業の参加メニューを増やし、より多くの消費者の皆さんにかんびょうの魅力をPRしていくとともに、生産者の生産意欲を高めていく取り組みを行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標①魅力的で安定した雇用を創出する ②東京圏からの新しいひとの流れをつくる</p> <p>【KPI】 新メニューの提供数:H26年ー ⇒ H31年延べ10件 【H29実績 4件】 市地産地消応援団認定数:H26年47事業所 ⇒ H31年60事業所 【H29実績 52事業所】 新規就農者数:H26年8人 ⇒ H31年10人 【H29実績 4人】 地産地消イベント開催数:H26年4回 ⇒ H31年6回 【H29実績 5回】 下野ブランド認定件数:H26年24件 ⇒ H31年40件 【H28実績 32件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の開催 かんびょうむき、干し体験 ふくべ重さ当て ふくべ給付け体験 ジャンボふくべコンテスト かんびょう料理教室 かんびょう汁のサービス かんびょう料理レシピの配布 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の開催 かんびょうむき、干し体験 ふくべ重さ当て ふくべ給付け体験 ジャンボふくべコンテスト かんびょう料理教室 かんびょう汁のサービス かんびょう料理レシピの配布 都市消費者との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の開催 かんびょうむき、干し体験 ふくべ重さ当て ふくべ給付け体験 ジャンボふくべコンテスト かんびょう料理教室 かんびょう汁のサービス かんびょう料理レシピの配布 都市消費者との交流 		
事業費	437,927	418,300	418,000	1,274,227	418,000
市町支出金 (ソフト事業分)	418,300	418,300	418,000	1,254,600	418,000
うち県交付金	172,000	120,000	150,000	442,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	19,627	0	0	19,627	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課(農業振興グループ)
担当者名	米井 正和
電話	0285-32-8906
FAX	0285-32-8611
E-mail	nousei@city.shimotsuke.ig.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第8回 しもつけかんぴょうまつり	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	418,300	補助金
計	418,300	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	199,553	199,553	44,000	0	ステージ出演謝礼 各種イベント参加賞 他
消耗品費	129,189	129,189	64,000	0	かんぴょう料理教室食材費 試食用食材費 他
食糧費	64,838	64,838	0	0	実行委員会(スタッフ)用飲み物・弁当、ステージ出演者用飲物
使用料及び賃借料	18,240	18,240	9,000	0	かんぴょう剥き機、コンテナ使用料 他
手数料	6,480	6,480	3,000	0	看板設置手数料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	418,300	418,300	120,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	絶滅危惧種トウサワトランオ保護事業 ～保護から生まれる地域未来創造～
事業主体の名称	下野市トウサワトランオ保存会
代表者の名称	会長 黒川 英代
事業主体の所在	下野市東根 地内
事業主体の概要	・団体の目的：絶滅危惧種トウサワトランオの保護及びPR活動を行う。 ・設立年月日：平成24年5月24日 ・構成員等：南河内土地改良区(江川・五千石地区整備委員会)、東根自治会、県立小山北桜高等学校、下野市自然に親しむ会、下都賀農業振興事務所(整備部整備課)、下野市(農政課)
当該事業に係る地域の現状と課題	下野市には、絶滅危惧種トウサワトランオの群生地がある(※)。平成18年に50年ぶりに確認され、県が保全地を造成し管理を行っていたが、平成24年に管理が下野市に移ったことをきっかけに、下野市トウサワトランオ保存会を設立し、以降、トウサワトランオ保護のため、生育状況の調査や保全地の草刈り等の保護活動を行ってきた。また、これまで下野市は“通り道”であることが多く、なかなか“目的地”とは認識されることがなかったが、トウサワトランオの群生地の発見により観光客の増加が期待され、NHK等のマスコミを通してトウサワトランオのPR活動を行ってきた。平成29年度は、NHK放映の翌日には100人程度の来客があり、以降千葉県や遠くは四国から保全地を訪れる姿も見られた。このため、保全地の案内看板を設置したり、お菓子「東根の華〜トウサワトランオ〜」を製作し、地元小学校の卒業式や市賀詞交歓会などで配布し地元のPRを行った。 しかし、群生地の規模が大きいため、その維持管理には手間がかかる上、国内でも2ヶ所しか見られない絶滅危惧種であるにも関わらず、トウサワトランオの知名度はあまり高くなく、観光に訪れる人は市民の一部もしくはマスコミ等で存在を知り得た視聴者のみである。そのため、今後いかにしてトウサワトランオを保護しながら、トウサワトランオを活用して地域に人を呼び込むかが課題となっている。 ※ 国内で自生しているのは栃木県と愛知県のみと言われる花で本県では絶滅したとされていた。良好な圃場を維持してきた地元の努力の結果であり、発見後は保全地を造成し人為的な保護活動を行い、現在これほどの大群落を保っているのは下野市のみ。
事業目的	トウサワトランオの生育環境を守る。 ・絶滅危惧種であるトウサワトランオが生息する自然環境と、その保全活動を観光客等に周知し下野市に人を呼び込む。 ・近隣に位置する「道の駅しもつけ」への誘客を促し、物産品や土産物の購入を通して下野市の魅力を知ってもらう。 ・東根自治会が保全してきたトウサワトランオの咲く自然環境を観光客にPRすることにより、自然を保全することの大切さや、下野市の貴重な生態系について、多くの人に理解してもらう。
事業概要	【平成30年度】 トウサワトランオの生育環境を守る ○東根自治会・トウサワトランオ保存会・下都賀農業振興事務所・小山北桜高校・下野市自然に親しむ会参加のもと、保全地の一斉草刈り作業(開花後、秋の雑草繁茂後)実施した。その他、草刈り時に発生した枯草の焼却作業、雑草対策(灌漑期の5〜8月・除草剤散布)、湛水管理(灌漑期の5〜8月)を行い、生育環境維持のための活動を行った。 ○保全に向けた実証実験を実施 小山北桜高校生物部の小林先生の指導のもと、地元自治会及び学生の協力により、適切な保全手法の検証のための実験を行った。 A: 薬剤散布による除草 B: 草刈りによる除草後、施肥 C: 草刈り後耕うん 施肥 D: 草刈り後耕うん 施肥なし トウサワトランオを活用して人を呼び込む ○「花を見る会」の開催 ○トウサワトランオの説明パネルや保全活動状況の解説パネルを制作し、イベントや道の駅しもつけに展示した。 (将来にわたり保護する体制をつくる) ○トウサワトランオの観察研究、調査結果発表(県立小山北桜高校)の開催。 ○小山北桜高等学校・吉田西・東小学校の交流事業(学校校庭内のビオトープ(小規模な生息空間)にトウサワトランオ管理作業)の開催。 【平成31年度】 ・実証実験の結果を踏まえ、保存会と協力しながら、保護活動と観光資源化のバランスに配慮し、地域資源としての活用を検討する。 ・小山北桜高等学校等との交流事業の中で、絶滅危惧種ゆるキャラの企画・製作を検討する。 ・保全地・学校校庭内のビオトープにおいて、トウサワトランオの苗の移植を行い増加を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人【H27実績 256万人】 【KPI】道の駅しもつけ利用者数:H26 260万人→H31 280万人【H28実績 237万人】 下野ブランド認定件数:H26 24件→H31 40件【H28実績 32件】 市ホームページアクセス数:H26 110万件→H31 120万件【H27実績 124万件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①保全地周辺の環境整備 ②開花後の案内、見守り活動 ③観察会「花を見る会」の開催、研究発表 ④保全地の除草作業 ⑤保全活動のPR事業	①保全地周辺の環境整備 ②開花後の案内、見守り活動 ③観察会「花を見る会」の開催、研究発表 ④保全地の除草作業 ⑤保全活動のPR事業	①保全地周辺の環境整備 ②開花後の案内、見守り活動 ③観察会「花を見る会」の開催、研究発表 ④保全地の除草作業 ⑤保全活動のPR事業		①保全地周辺の環境整備 ②開花後の案内、見守り活動 ③観察会「花を見る会」の開催、研究発表 ④保全地の除草作業 ⑤保護活動のPR
事業費	300,000	600,000	390,000	1,290,000	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	300,000	600,000	390,000	1,290,000	200,000
うち県交付金	105,000	256,000	150,000	511,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課(農村整備グループ)
担当者名	青木 大輔
電話	0285-32-8906
FAX	0285-32-8611
E-mail	nousei@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	絶滅危惧種トウサワトラノオ保護事業～保護から生まれる地域未来創造～	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	390,000	下野市補助金
計	390,000	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	42,072	42,072	21,036	0	作業用消耗品(ブルーシート4,788円・除草剤26,344円・肥料10,940円)
燃料費	6,348	6,348	3,174	0	燃料費 6,348円(油代)
手数料	206,000	206,000	103,000	0	・草刈り作業 (第1回目 4,000円×17人 第2回目 4,000円×20人) ・実証実験:耕うん、施肥等 (2,000円×5人) ・除草剤散布 (2,000円×3人×3日) ・役員による保全地水入れ・清掃 作業 (3,000円×2人×5日)
食糧費	90,000	90,000	0	0	草刈り除草作業(年2回)及び 総会時の昼食
委託料	45,580	45,580	22,790	0	パネル作成委託45,580円
				0	
計	390,000	390,000	150,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	国分寺地区盆踊り&花火大会
事業主体の名称	国分寺地区コミュニティ盆踊り&花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 岡本 鉄男
事業主体の所在	下野市小金井5-22-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:大会開催を通じて、市民の力で地域の連帯感を醸成する。 ・設立年月日:昭和61年 ・構成員等:国分寺中央コミュニティ推進協議会及び同協議会内自治会
当該事業に係る地域の現状と課題	国分寺地区はJR小金井駅を中心とした住宅地とその周辺の農村地域からなる。集合住宅の増加や核家族化等生活様式が大きく変化し、かつての地域共同体が失われ地域の連帯感が希薄になりつつあった。そのため、地域の連帯感を高めていく取り組みが求められていた。
事業目的	本大会を住民自ら手づくり開催し、多くの市民の来訪により、地域の連帯感を醸成する。また、地元中学生の参加により、子どもの郷土愛を醸成する。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>○盆踊り&花火大会の開催 開催日:平成30年8月4日(土) 盆踊り大会:地元お囃子会の演奏により地元各種団体が演技、審査表彰した。 花火大会:30分程度花火を打ち上げた。 来訪者:約4,000人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体として幼稚園、小中学校、子供会育成会などに協力いただき、親子で参加しやすい雰囲気づくりを心掛け、子どもの郷土愛の醸成に努めた。 ・踊りの審査員や放送スタッフとして国分寺中学校の生徒に積極的に関わってもらうことで、地域イベントに関わる経験を通して、地域の行事や地域の人との交流の良さを感じてもらった。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>前年度開催内容を検証のうえ、改善すべき点があれば対応しながら、継続して開催していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>幸せだと感じている市民割合:H26 75%→H31 78%【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p> <p>住みやすいと感じる市民の割合:H26 84%→H31 87%【市民意識調査(次回H31実施予定)】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	盆踊り&花火大会の開催	盆踊り&花火大会の開催	盆踊り&花火大会の開催		盆踊り&花火大会の開催
事業費	2,723,755	2,750,000	2,750,000	8,223,755	2,750,000
市町支出金 (ソフト事業分)	810,000	828,000	820,000	2,458,000	820,000
うち県交付金	405,000	414,000	410,000	1,229,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,913,755	1,922,000	1,930,000	5,765,755	1,930,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課(自治振興交流グループ)
担当者名	川俣 貴史
電話	0285-32-8887
FAX	0285-32-8606
E-mail	shiminkyoudousuishin@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	国分寺地区コミュニティ盆踊り&花火大会	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	810,000	下野市補助金
負担金	280,000	国分寺中央コミュニ推進協議会
協賛金	1,568,000	
雑収入	65,755	
計	2,723,755	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	250,500	150,000	75,000	100,500	お囃子・出し物演技謝礼等90,000円、参加賞160,500円
消耗品費	21,049	10,000	5,000	11,049	事業用消耗品18,241円 看板2,808円
食糧費	237,410	0	0	237,410	準備及び当日弁当・飲み物等
通信運搬費	36,828	20,000	10,000	16,828	郵送料
手数料	16,113	10,000	5,000	6,113	はっぴクリーニング15,573円 振込手数料540円
保険料	3,600	0	0	3,600	損害保険料
委託料	2,151,344	620,000	310,000	1,531,344	花火打上1,500,864円、やぐら・審査員席設置216,000円、電気設備仮設345,600円、放送設備設置50,000円、警備38,880円
繰越金	6,911	0	0	6,911	次年度繰越金
計	2,723,755	810,000	405,000	1,913,755	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合